

平和を仕事にする

—プロフェッショナルな自分が未来で待っている—

自衛隊員である誇りと使命を胸に

自衛隊員は数ある仕事の中でも「平和を仕事にする」を胸に、誇りをもって社会に貢献できます。
ここでは、自衛隊がどのような仕事をし、自衛官になるためにはどのようなコースがあるか紹介します。

さまざまな形で社会に貢献できる、幅広いフィールドがあります。

自衛隊には多様な働き方（コース）、多くの職種・職域があり、自分の興味や得意分野を活かしながら、一人ひとりがイメージする「将来の自分」を実現できる幅広いフィールドが広がっています。



国際平和協力

国際平和のための努力及び国際協力の推進に寄与するため、国際平和協力活動や、国際緊急援助活動に参加しています



国の防衛

万一、わが国が武力攻撃などの有事に見舞われても、国民の生命と財産を守るために、即座に効果的な対応ができるように備えます



災害派遣

大規模な自然災害や有事の際に人命救助などに尽力するため、国内のどの地域においても災害派遣が出来る態勢を保持します



第60次南極地域観測協力行動中の海自隊員

南極大陸での燃料や物資の搬入業務にあたる隊員、政府専用機に搭乗し国賓などの輸送にあたる隊員、ハンドラーとして警備犬の訓練にあたる隊員など、その業務は多種多様です。



政府専用機内に勤務する空自隊員

自衛官とは

自衛官は特別職の国家公務員としての身分が保証されており、給与、保険など安定した処遇・福利厚生のもと、目標に向かって邁進することができます。

また、一言に自衛官といっても、それぞれの役割に応じて階級が異なります。
自分にあった自衛官のキャリアを見つけましょう。

幹部自衛官

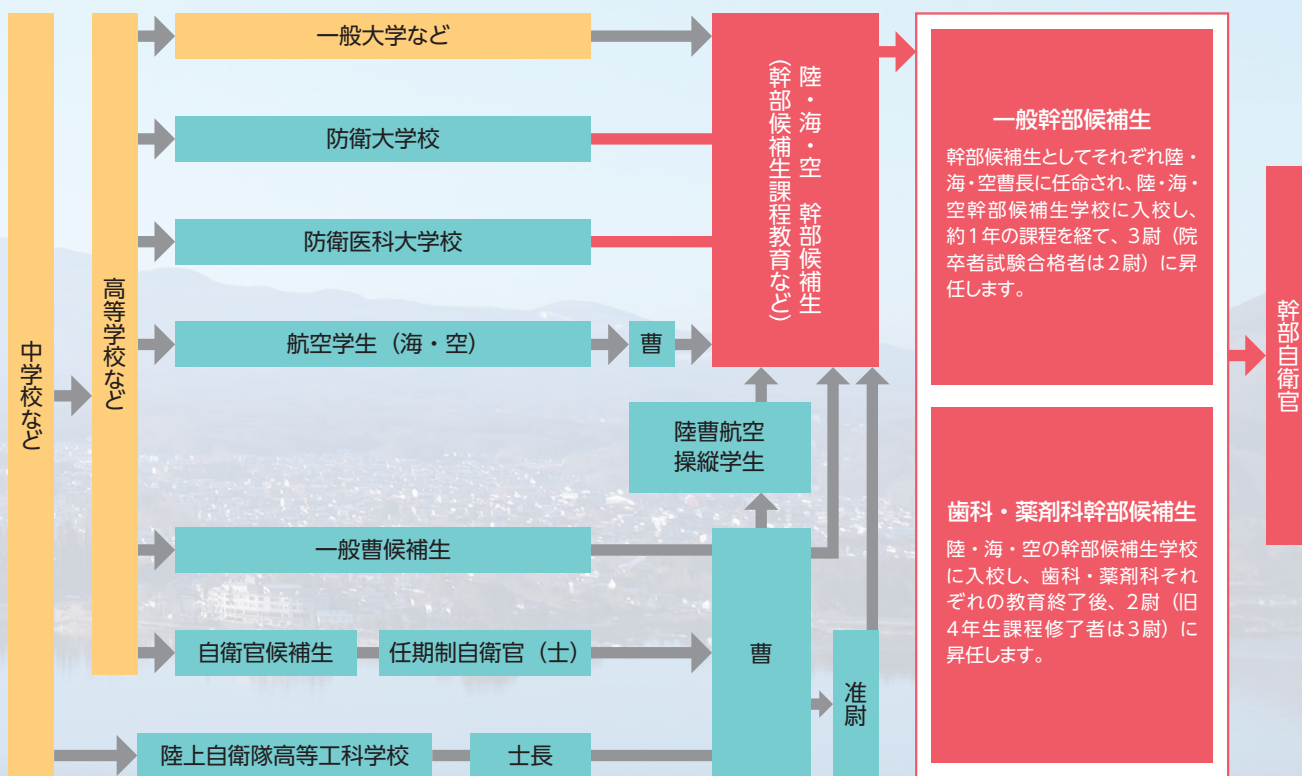
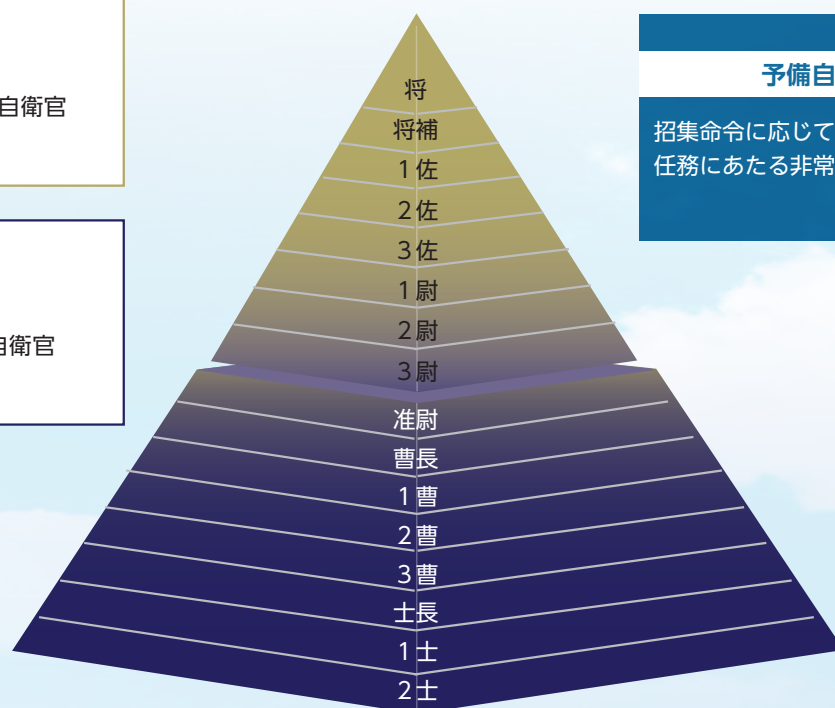
組織のリーダーとなる自衛官

准曹士自衛官

各部隊の中核となる自衛官

予備自衛官

招集命令に応じて、
任務にあたる非常備の自衛官



自衛隊の仕事図鑑

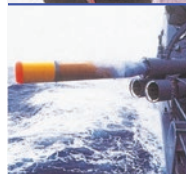


陸上自衛隊の職種一覧

 普通科 地上戦闘の骨幹部隊として、機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に決着をつける重要な役割を果たします。	 特科(高射特科) 対空戦闘部隊として侵攻する航空機を要撃するとともに、広範囲にわたり迅速かつ組織的な対空情報活動をを行います。	 施設科 戦闘部隊を支援するため、各種施設器材を持って障害の構成・処理、陣地の構築、渡河などの作業を行うとともに、施設器材の整備を行います。
 機甲科 戦車部隊、機動戦闘車部隊、水陸両用車部隊及び偵察部隊があり、戦車などの正確な火力、優れた機動力及び装甲防護力により、敵を圧倒撃破するとともに迅速に機動します。	 情報科 情報に関する専門技術や知識をもって、情報資料の収集・処理及び地図・航空写真の配布を行い、各部隊を支援します。	 通信科 各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信確保、電子線の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理などを行います。
 特科(野戦特科) 火力戦闘部隊として大量の火力を随時随所に集中して広域な地域を制圧します。	 航空科 各種ヘリコプターなどをもってヘリ火力戦闘、航空偵察、部隊の空中機動、物資の輸送、指揮連絡などを実施して、広く地上部隊を支援します。	 武器科 火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理などを行います。

海上自衛隊の職種一覧

※ここに掲載している職種は、曹士のものです

 射撃 護衛艦などにおいて、砲、ミサイルを操作し、各種目標に対する攻撃を実施します。また弾火薬などの取り扱いを実施します。	 気象・海洋 気象・海洋観測、天気図類の作成、気象・海洋関係の情報の伝達に関する業務を行います。	 飛行 P-3C/P-1哨戒機、US-1A/2救難飛行艇、SH-60J/K艦載ヘリコプターなどの搭乗員として飛行任務を実施します。
 通信 陸上基地、艦艇及び航空機等の通信、暗号の作成及び翻訳、通信器材・暗号器材及び関連器材の操作整備を業務とします。	 航海・船務 航海は、艦艇の艦橋において航海に関する業務を実施します。船務は、レーダー・電波探知機などを活用し、戦術活動を実施します。	 機関 エンジン（ガスタービン、ディーゼル等）発動機などの運転、整備及び火災、浸水対処などを業務とします。
 水雷 護衛艦、潜水艦で魚雷などの水中武器、ソナー等の水中搜索機器を操作し、潜水艦の搜索、攻撃及び器材の整備を行います。	 給養 艦艇及び陸上部隊において、隊員に対する給食業務を実施します。	 航空機整備 航空機の機体、エンジン及び計器並びにこれらを維持するための器材などの整備、修理、補給などに関する業務を行います。

航空自衛隊の職種一覧

※ここに掲載している職種は、曹士のものです

 飛行 戦闘機、輸送機、偵察機及び政府専用機などを操縦し、防空、偵察航空、航空輸送及び航空救難などを行います。	 高射 侵襲してくる航空機や巡航ミサイルを撃破するため、ペトリオットミサイルシステムの操作及び器材の整備を行います。	 通信 通信器材を操作し、電報などの送受信を行うほか、器材の整備管理などを行います。
 航空管制 航空自衛隊の飛行場（共用飛行場を含む）における航空交通管制業務を行います。	 電算機処理 電子計算機及び関連器材の操作やプログラムの作成、電子計算機システムの管理を行います。	 武器弾薬 航空機に搭載される武器弾薬などの補給、管理、整備を行います。
 警戒管制 日本の領空を常時監視し、接近又は侵入してくる航空機を早期に発見・識別し、必要に応じて戦闘機の誘導を行います。	 気象 航空機の離着陸及び飛行安全確保のため、気象観測・予報を行い、各種気象情報を全国の部隊に通報したり、天気図の作成を行います。	 航空機整備 航空機のエンジンや搭載する電子機器類、レーダーなどの整備及び航空機の定期整備を行います。

自衛隊はいろいろな職種のプロフェッショナルによって成り立っています。
陸、海、空自衛隊にはきっと皆さんも興味を持つ様々な職種・職域があります。
まずは「[自衛隊適職診断](#)」から自分に合った職種と見比べてみてください。

自衛隊の仕事がよくわかる！
[自衛官募集ホームページ](#)



動画もチェック

陸上自衛隊HP <https://mod.go.jp/gsd>



需品科

糧食・燃料・需品器材や被服の補給、整備及び回収、給水、入浴洗濯などを行います。



警務科

警護、道路の交通統制、隊員の規律違反の防止、犯罪捜査など部内秩序の維持に寄与します。

陸上自衛隊の職種詳細は
こちらからご覧ください



輸送科

大型車両をもって部隊、戦車、重火器、各種補給品を輸送するとともに、輸送の統制、ターミナル業務、道路交通規制などを行います。



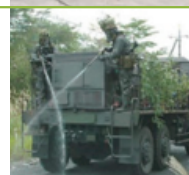
会計科

隊員の給与の支払いや、部隊の必要とする物資の調達などの会計業務を行います。



音楽科

隊員の士気を高揚するための演奏や広報活動に関する演奏を行います。



化学科

各種化学器材をもって放射性物質などで汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品などの除染を行います。



衛生科

患者の治療や医療施設への後送、部隊の健康管理、防疫及び衛生器材の補給・整備などを行います。

海上自衛隊HP <https://mod.go.jp/msd>



経理・補給

給与・旅費などの計算、物品等の調達、部隊の任務を遂行するために必要な装備品などを準備し、供給する業務を実施します。



情報

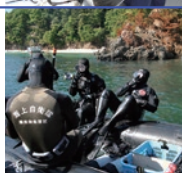
情報資料の収集、処理及び情報の配布、秘密保全などを業務とします。

海上自衛隊の職種詳細は
こちらからご覧ください



航空管制

飛行場で離着陸する航空機又は飛行機周辺を飛行する航空機の無線・レーダーなどでの誘導などを業務とします。



潜水

浅海域における簡単な水中作業や機雷・不発弾などの爆発物の捜索・処分、深海域における潜水艦などの乗員の救助に従事します。



音楽

音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚します。また、広報活動に関する業務を行います。



施設

固有財産についての管理、運用、施設器材・施設車両を用いての建設、道路などの工事及び器材の設備を行います。



衛生

病院における医療及び医務室における健康管理や身体検査を実施するとともに、潜水に関する調査・研究を業務とします。



掃海機雷

掃海艦艇などで機雷探知機、掃海具などを操作し、機雷の処分及び機雷の調整、器材の保守整備を行います。

航空自衛隊HP <https://mod.go.jp/asd>



施設

基地内施設の維持管理（土木・建築・電気など）及び航空機事故や建物火災など非常時の消化、人命救助などを行います。



警備

基地内巡察などを行い、基地の施設や物品などの警戒等を行うほか、基地内出入者の監視などを行います。

航空自衛隊の職種詳細は
こちらからご覧ください



衛生

隊員の健康診断及び各種身体検査のほか、医療、環境衛生、食品衛生検査を行います。



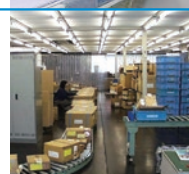
音楽

航空自衛隊には5つの音楽隊があり、国の行事や自衛隊の公式行事の時に演奏を行います。



会計

隊員の給与・旅費の支払いや、部隊などの任務遂行に必要な物品などの調達を行います。



補給

航空自衛隊で使用する物品の需給統制、在庫管理、取得出納、保管などを行います。



輸送

航空自衛隊で装備・使用されている車両で、人や貨物を輸送したり、航空機へ貨物を搭載する業務を行います。

自衛官になるための様々なコース

自衛官になるといっても、その職域や進路は多種多様です。
希望や適性に応じて最適なコースを選択することができます。

採用上限年齢の引き上げ

自衛官候補生、一般曹候補生の採用年齢範囲が平成30年10月1日以降、下記のとおり改変されました。

種目	年齢の範囲	
	改正前	現行
自衛官候補生	採用予定月の1日において 18歳以上27歳未満	採用予定月の1日において18歳以上33歳未満 (32歳の者にあたっては、採用予定月の1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達しない者)
一般曹候補生	一般曹候補生を受ける年の 翌年4月1日において18歳以上27歳未満	採用予定月の1日において18歳以上33歳未満 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)

自衛官候補生

自衛官となる為に必要な基礎的教育訓練を経て、任用期間の定められた「任期制自衛官」に任官します。様々な訓練や職務を通じた技術の習得、任期満了後の再就職に向けた資格の取得など、希望に合った将来設計が描けます。



動画もチェック

先輩隊員の声



まつ お じゅんや
松尾 潤哉

陸上自衛隊
西部方面特科連隊
第4大隊本部管理中隊
陸士長（H28年入隊）

自衛隊の災害派遣活動を見て、自衛官を志しました。学生の頃よりも時間厳守で行動し、洗濯や掃除など自分の事は自分でする習慣が身につく、両親や恩師も私の成長を喜んでくれます。

訓練や体力練成ばかりでなく、器材の整備や事務といったデスクワークもあり、しっかりと休みも取れ、安心して勤務しています。

これからも家族、国民を守る自衛官として成長していきます。

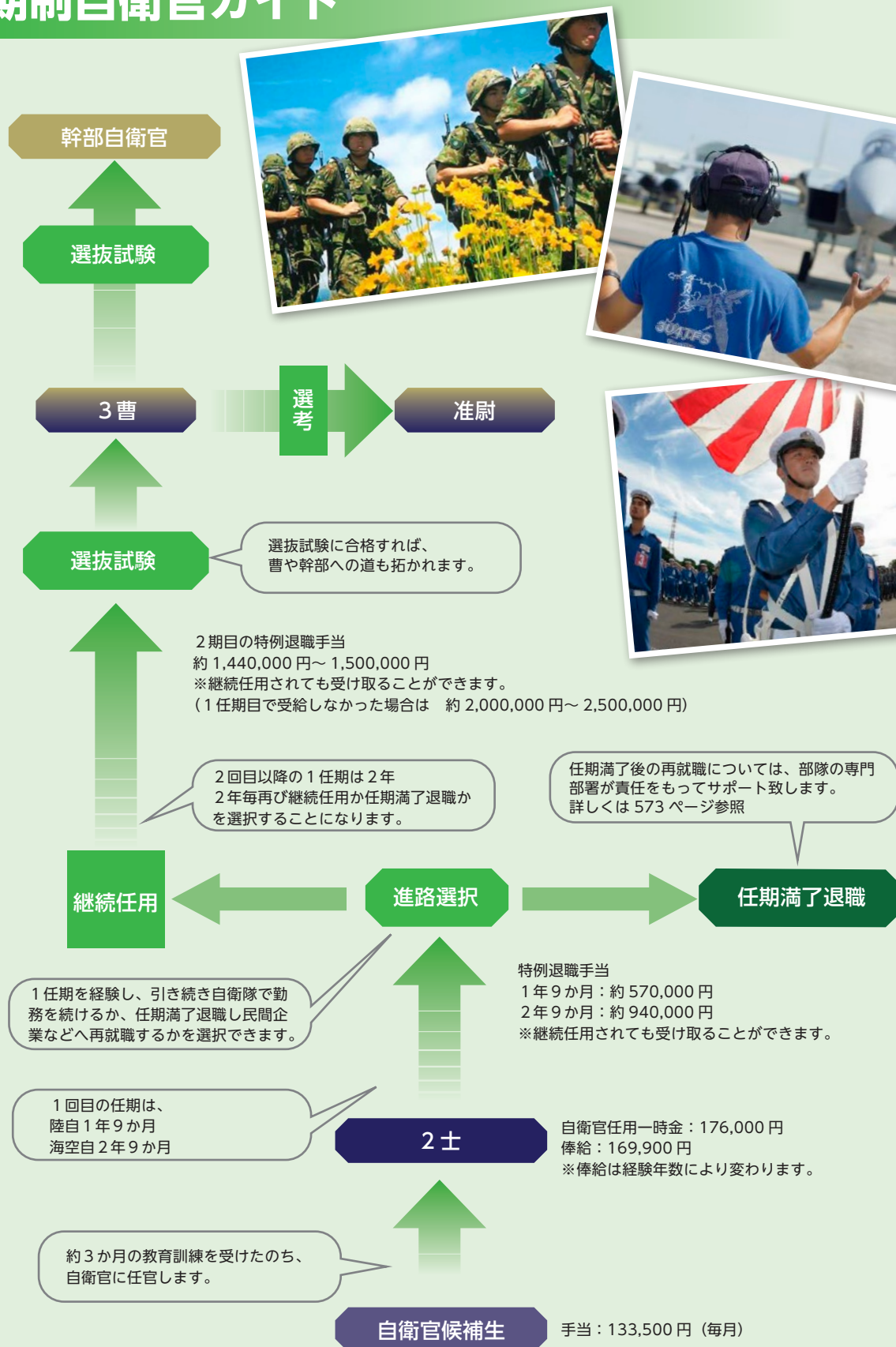


よし だ かんし
吉田 艦崇

航空自衛隊
第8航空団
整備補給群修理隊
1等空士（H29年入隊）

災害派遣などで活躍する自衛官の姿に憧れ、航空自衛隊への入隊を決意しました。入隊前は体力面に不安を感じていましたが、段階的に訓練を受けることで少しずつ不安を払拭することができました。現在は、戦闘機のエンジン整備員として、やりがいのある職務に励んでいます。休暇も取得しやすい環境が整っているので、公私ともに充実した毎日が送れています。

任期制自衛官ガイド



※俸給、手当の額は法律改正により変更になる可能性があります。

お手持ちのパソコンからさらに詳しいシミュレーションを体験できます。

<http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/streaming/guide/index.html>

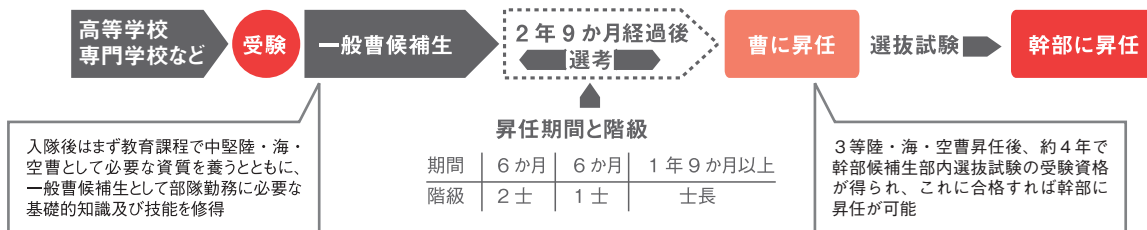
一般曹候補生



動画もチェック

部隊の基幹隊員である陸、海、空自衛官を養成する制度です。入隊後、教育課程や部隊勤務で知識や経験を積み、それぞれの職域のプロとして活躍します。自衛官の基礎知識はもちろん専門的な技能まで、じっくりと着実に身に付けながら自分のペースで成長することができます。

STEP UP



先輩隊員の声



ふるかこい たかひろ
古 梶 貴裕

海上自衛隊
護衛艦「いせ」
海士長（H29年入隊）

私は高校生の頃に「人のために役に立つ仕事がしたい」と思い、海上自衛隊に入隊しました。護衛艦いせでは、訓練で様々な所に入港し、人生で初めて海外に行き、充実した艦艇生活を送っています。また、休暇も十分にあり、家族との時間もしっかり取れるので私生活も充実しています。我が国の最前線で勤務に励み、やりがいをもって勤務しています。

広報官の声



なかやま たかひろ
中山 隆廣

長野地方協力本部
伊那地域事務所
2等海曹

自衛官の父の薦めで、海上自衛隊に入隊し、艦艇勤務、基地警備、地上救難、車両整備など幅広い分野で勤務し、自衛官としても社会人としても成長できました。災害派遣時には、自衛官としてやりがいを実感できました。

自衛隊に少しでも興味のある方や自分の可能性を試したい方は、お気軽に近くの地方協力本部にお寄りください。広報官は、自衛隊の未来の担い手のために、丁寧な説明に心がけてまいります。

航空学生



動画もチェック

海自または空自のパイロットなどを育成します。団体生活を送りながら各種訓練を受け、戦闘機、哨戒機、輸送機、ヘリコプターなどのパイロットなどに最年少でなることが出来ます。



海上自衛隊で搭乗できる主な機種の例



航空自衛隊で搭乗できる主な機種の例



高等工科学校生徒



動画もチェック

高機能化・システム化された装備品を運用する陸上自衛官となる者を養成するための学校です。国際社会においても自信をもって対応できる自衛官を育てます。



予備自衛官補



動画もチェック

社会人や学生といった自衛官未経験者であっても「予備自衛官補」として教育訓練を受ければ「予備自衛官」に任命され、各種事態において自衛官として社会に貢献できます。「一般」と「技能」（語学、医療など）のコースがあります。



米陸軍中將から
メダルを授与される筆者

自衛隊東京地方協力本部

予備3等陸佐 ^{にわ だいすけ} 丹羽 大輔

私は日本国・米国ニューヨーク州の資格を有する弁護士です。海外勤務を契機に「祖国を愛し守りたい。」との想いを強くし、予備自衛官に志願しました。昨年は日米共同方面隊指揮所演習に方面総監部法務官付として参加し、米軍の法務幕僚と協力して作戦立案上の法的論点を分析・検討するなど、貴重な経験をいただきました。国防への情熱をお持ちの方、ご志願を心よりお待ちしております。

防衛大学校学生



動画もチェック

将来、各自衛隊の幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。広い視野、科学的な思考力、豊かな人間性を持ち、想像力と活力に溢れる優れた幹部自衛官となるため、知育以外に徳育と体育を重視しています。

STEP UP

防衛大学校

4年

卒業

陸・海・空曹長

合格

一般幹部候補生採用試験

約1年

幹部候補生学校

3等陸・海・空尉

初級幹部自衛官として必要な知識及び技術の修得のための教育を受けます。

各部隊などに配属

さらに将来は自己の能力と努力、部隊勤務と教育を重ね、各種特技や上級課程の教育を受け、指揮官・幕僚・教官・研究員など、国の防衛の任を果たす地位につくことができます。

指揮官・幕僚
教官・研究員など

自衛隊の職種・職域に応じた専門教育を受けながら幹部としての道を進みます。

学生の1日



06:00 起床
06:35 朝食
08:10 国旗掲揚
課業行進
08:30 午前授業
12:00 昼食
13:15 午後授業
16:30 校友会活動
17:15 国旗降下
18:15 夕食
19:45 自習
22:30 消灯



校友会活動

校友会活動（クラブ活動）も盛んで、全員が加入し、友情や気力・体力、連帯感を養います。



一般幹部候補生



動画もチェック

防衛大学校と一般大学の卒業生が陸・海・空自衛隊それぞれの幹部候補生学校において、自衛隊組織の骨幹である幹部自衛官として必要な知識と技能を学びながら、その資質を養います。



防衛医科大学校医学科学生



動画もチェック

将来医師である幹部自衛官となる者を6年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。医師としての知識や技能の他に、生命の尊厳への理解やあらゆる任務を遂行できる強靱な体力も養います。



卒業後のキャリアパス

医科幹部候補生
(陸・海・空曹長)

幹部自衛官

幹部候補生学校
(6週間)

**広い知識と技術
を修得する**

卒業後、幹部候補生(曹長)として各自衛隊の幹部候補生学校に入校し、幹部自衛官として必要な知識・技術の習得のための教育を受けます。



初任実務研修
(2年間)

**診療・医療環境を
学ぶ**

幹部候補生学校を卒業後は、2尉に昇任し、防衛医科大学校病院及び自衛隊中央病院などで2年間の臨床研修を行い、総合臨床医としての研さんを積みまします。



部隊などに勤務
(1年以上)

**現場で医療の
技術を培う**

初任実務研修修了後は、自衛隊の病院や部隊などで約2年間、医官として勤務します。この間に、初級幹部自衛官としての教育が行われます。



専門研修
(2年間)

※ 研修科目によっては最大4年間

**医学の専門分野の
基礎を広く修得**

部隊などでの勤務後は、自身が選択した専門分野の研修科目を防衛医科大学校病院などで学びます。研修修了後は、殆どの者が専門医の資格を取得します。



部隊などに勤務
(1年以上)

**活躍の場は
世界規模**

専門研修修了後は、部隊などで勤務します。自衛隊の役割・活動の拡大に伴い、医官の役割も拡大し、国内だけでなく海外にも活躍の場が広がっています。



医学研究科
(1年以上)

**進歩・発展する
医学・医療に対応**

さらに、医学に関する高度の研究能力などの習得を目指し、医学研究科に進むことも出来ます。修了後は、学位論文審査に合格すれば、博士(医学)の学位を取得できます。



部隊勤務

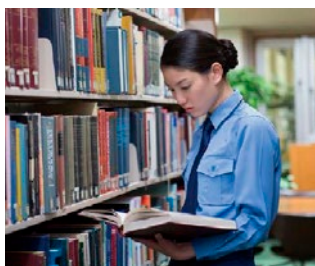
病院勤務

防衛医科大学校看護学科学生(自衛官候補看護学生)



動画もチェック

将来、看護師・保健師である幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。看護専門職者としての優れた教養・知識・技術の実践を通じて、防衛省・自衛隊の国内外における活動に貢献できる人材を育成します。



ワークライフバランスに関する 取組と制度の活用

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現するため、
防衛省・自衛隊として以下のような取組を実施しています。

庁内託児施設の整備

自衛隊の不規則な勤務形態に対応できる庁内託児施設をこれまで8か所（三宿、熊本、横須賀、真駒内、朝霞、入間、市ヶ谷、防医大）に整備しています。



庁内託児施設に
子どもを預ける隊員

緊急登庁時における 子どもの一時預かり

災害派遣などの際の緊急登庁時に、駐屯地などにおいて概ね5日程度、子どもを預かることができる態勢を整備しています。



一時預かり中の様子

ワークライフバランスを図るための様々な制度などを
活用・実施している隊員の声をご紹介します。



陸上自衛隊
第1普通科連隊

2等陸曹
うえだ りょうへい
上田 遼平

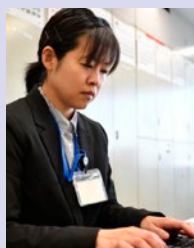
育児休業

～男性の育児休業取得の促進～

育児休業を取得した当初は不安でしたが、子どもと過ごした時間はかけがえのないもので、多くの経験を得られました。

世の中の女性は同じことをしても称賛されることは殆どなく、更には男性と同様に働くことを要求されています。

育児休業を認めてくれた部隊に感謝するとともに、男性による育児休業の取得が促進されるよう貢献していきたいと思います。



海上自衛隊
海上幕僚監部

2等海曹
はぎひら なおこ
萩平 尚子

サテライトオフィス

～家族との時間を増やす働き方～

私は横須賀地方総監部に設置されたサテライトオフィスを利用しています。

サテライトオフィスには仕事に必要なツールも揃っており、防衛省まで片道1時間半の通勤時間も1/3に減りました。その分主人と一緒に夕食を楽しむ時間、趣味の時間を共有することで気持ちもリフレッシュでき、日々の勤務も意欲的に取り組んでいると実感しています。



航空自衛隊
補給本部

1等空佐
みやわき ひろき
宮脇 博基

国外での育児休業

～育児休業制度に感謝～

妻の職場の米国には育休制度が無いので、私が育休（8ヶ月）を取得して現地で育児を行いました。前例の無い国外での長期育休でしたが、職場には柔軟にサポートして頂きました。おかげで妻はキャリアを維持でき、私も育休終了後、問題なく業務に復帰できました。米国の友人達には「日本は素晴らしい国だ！」と羨ましがられています。

幅広い分野で活躍する女性職員

防衛省・自衛隊では、その能力に応じ、
日本のみならず世界においても女性が活躍しています。



動画もチェック



陸上自衛隊 第8高射特科大隊長
2等陸佐 やまさき まゆ 山崎 麻由

「戦闘職種の大隊長」として、また、「小学生の子を持つ母」としてWLB（ワークライフバランス＝仕事と生活の調和）が実現できているのは、職場と家族の理解と協力があるからこそだと日々感謝しています。そして、陸上自衛官という職業に誇りと生き甲斐を感じています。男女関係なく、自分の強い意志をもって臨めば、様々なチャンスを与えてくれるこの組織で、これからも頑張っていこうと思います。



WLB（ワークライフバランス）の実現



海上自衛隊 第1護衛隊司令
1等海佐 あずま りょうこ 東 良子

私は、第1護衛隊の隊司令として「いずも」など4隻の護衛艦を指揮しています。責任のある配置で毎日が充実しており、メリハリを持って、主導的に業務に取り組んでいます。どんなに経験を積んでも、新しいことは必ずあります。

そんな時、私は、変化を恐れず、挑戦することが大切だと考えています。今の自分があるのは、これまで出会ってきた上司、同僚、部下に育ててもらったからだと思っています。これからも出会いを大切に、人に感謝して成長していきたいと思っています。



一期一会



航空自衛隊 航空幕僚監部
准空尉 とくもと ゆりえ 徳本 夕里恵

これまで「前向きに 誠実に 精一杯」を信条に、現場部隊や司令部において勤務し、仕事と子育てを両立しながら多様な職務に取り組んできました。今は、航空自衛隊の男女共同参画を推進する業務に携わる機会を与えていただき、働きがいのある職場作りを目指すチームの一員としてやりがいをもって取り組んでいます。これからも自分らしさを大切にしつつ、これまでの経験を生かして、この先新たに求められる職務にも積極的に尽力していきたいと思っています。



自分らしく挑戦し続けたい

退職後の再就職支援の取組

自衛隊は精強性を保つため、多くの自衛官は、50代半ば（若年定年制自衛官）または20代（大半の任期制自衛官）で退職することになります。

退職後の再就職の支援は、雇用主たる国（防衛省）の責務であり、将来の不安の解消や優秀な人材の確保のためにも極めて重要であることから、再就職に有効な職業訓練などの再就職支援施策を行っています。

■ 任期制隊員の再就職支援



■ 若年定年退職隊員の再就職支援

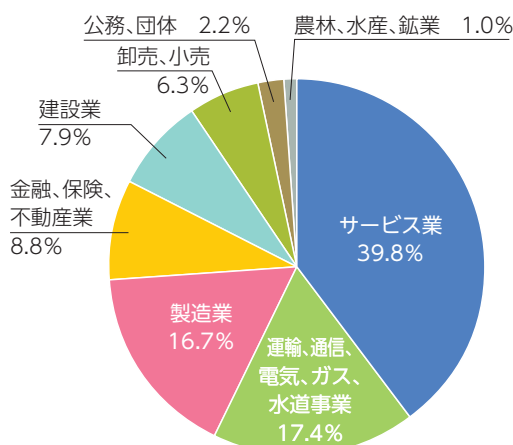


■ 再就職支援施策として行っている主な職業訓練

自動車運転	● 大型自動車 ● 普通自動車 ● 中型自動車 ● 大型特殊自動車 ● 準中型自動車
施設機械等運転	● フォークリフト ● クレーン運転士 ● ボイラー技士 ● 高所作業車 ● 車両系建設機械
電気通信技術	● 電気工事士 ● 電気主任技術者 ● 電気通信工事担当者 ● 無線通信士
危険物等取扱	● 危険物取扱者 ● 第3種冷凍機械責任者 ● 毒物劇物取扱責任者 ● 高圧ガス製造保安責任者
労務等実務	● 警備員検定 ● 運行管理者 ● 社会保険労務士 ● 総合危機管理士 ● 倉庫管理主任者
情報処理技術	● パソコン基礎検定 ● ITパスポート ● マイクロソフトオフィススペシャリスト ● 基本情報技術者
社会福祉関連	● 介護職員初任者研修 ● 福祉住環境コーディネーター ● メンタルヘルスマネジメント ● 介護福祉士
法務等実務	● 宅地建物取引士 ● 行政書士 ● 国内旅行業務取扱管理者 ● 秘書検定 ● 通関士
その他	● 公務員受験対策講座 ● 医療事務 ● 医療保険事務 ● 日商簿記 ● ファイナンシャルプランナー ● 消防設備士 ● 溶接技能者 ● 非破壊検査 ● 衛生管理者 ● 管理業務主任者 ● 防火管理者 ● 調理師

※上記を含め、約150課目の職業訓練を実施しています。

■ 30年度再就職支援実績



任期満了 退職者に対する 再就職支援実績

再就職支援希望者数 **1,996人**
就職決定者数 **1,993人**
就職決定率 **99.8%**

若年定年 退職者に対する 再就職支援実績

再就職支援希望者数 **4,598人**
就職決定者数 **4,540人**
就職決定率 **98.7%**

任期満了退職し再就職した隊員の声



ANA 新千歳空港株式会社 貨物サービス部 貨物郵便課

かわさき ゆうき
川崎 優輝氏

私は、航空自衛隊第2航空団で「武器弾薬整備員」として5年間勤務したのち、任期満了後「ANA 新千歳空港株式会社」に入社しました。入社後は、社員研修や教育課程を終えて貨物サービス部貨物郵便課に配属になり、貨物搬送員として機側でのコンテナ降搭載、搬送などを中心に勤務しています。社内には同期が多く、職場内もとても明るく活気があり、自分もいい刺激をもらっています。

雇用者の声



ANA 新千歳空港株式会社 貨物サービス部 部長

つちや としあき
土谷 利明氏

弊社は新千歳空港に於いてANA便を中心にハンドリング全般を行う空港ハンドリング会社でございます。貨物業務は135名の社員が配属され、約40名の自衛隊OBの方がおられます。川崎さんは入社から主に貨物搬送業務に従事して頂いております。航空業界はルールが非常に厳しいですが、更に厳しいであろう航空自衛隊の出身ということで、模範的な行動で日々の業務を遂行して頂いております。

若年定年退職し再就職した隊員の声



ALSOK 福島株式会社

あいた こういち
曾田 幸一氏

私は平成29年9月に入社し、福島第一原子力発電所において、施設警備隊員として勤務しております。業務内容は正門や施設内の警備及びパトロールなどであり、重要拠点である発電所の安全性確保のために、常に確実な点検と報告を心掛けています。自衛隊で培った気力・体力及び数多くの経験が大いに役立っていると実感しています。やりがいある職場であり、今後も数多くの知識と経験を積んで、会社と社会の発展に貢献していきます。

雇用者の声



ALSOK 福島株式会社 代表取締役社長

まえだ やすひこ
前田 泰彦氏

弊社はALSOKグループの一社として郡山市に本社を置き、今年で創業50周年を迎える地場の警備会社です。機械警備や常駐警備などのセキュリティ事業全般を通して、県内の皆様に「安全」と「安心」を提供しております。従業員には50名を超える自衛隊出身者の方々が在籍しており、自衛隊で培った知識と旺盛な体力を活かし、それぞれの配属先で活躍していただいております。今後も即戦力である自衛官の採用を強力に推進してまいります。

自衛隊の制服、階級章、き章の紹介

帽章

陸海空で着用する帽章です。
海自では階級に応じて異なる帽章をします。



陸



海



空

き章

自衛官が有する職務や技能、
資格を取得し、左胸に着用します。

陸上自衛隊



レンジャーき章

海上自衛隊



艦艇き章

航空自衛隊



航空き章(操縦士)



空挺き章



潜水艦き章



航空き章(航空士)



航空き章



航空き章



高射管制き章



スキーき章



航空管制き章



航空管制き章



格闘き章



特別警備き章



兵器管制き章



水陸両用き章



潜水員き章



航空医官き章

階級章

部隊章

自衛官の所属を示す標章であり、陸上自衛官は右上、航空自衛官は右胸に着用します。

陸上自衛隊



陸上総隊



東部方面隊



北部方面隊



東北方面隊



中部方面隊



西部方面隊

航空自衛隊



航空総隊



航空教育集団



航空支援集団



航空開発実験集団



補給本部

海

モデルは海上自衛官(1等海尉)

制服の紹介

常装冬服

陸海空で通常着用する代表的な制服であり、主に秋から春にかけて着用します。



陸



海



空



陸



海



空

常装第3種夏服

夏期に着用する制服です。



陸



海



空



陸



海



空

防衛記念章及び防衛功労章など

防衛記念章は、表彰などを受けた自衛官、特定の職務にあった自衛官の経歴を記念して、制服の左胸に着用できるものであり、全部で48種類設けられています。

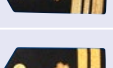
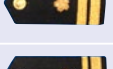
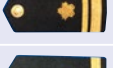
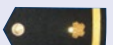
防衛功労章及び部隊功績貢献章は個人や部隊などの功績により表彰された自衛官に授与され、自衛隊の儀式などにおいて、制服に着用します。

功績により表彰された者		国際貢献従事者							
	個人の功績による表彰		部隊の功績による表彰						
			PKO、能力構築支援活動及び国際緊急援助活動等		テロ対策特別措置法に関する活動		イラク人道復興支援措置法に関する活動		
	海賊対処行動従事者(ソマリア沖)		海外勤務経験者(防衛駐在官等)		国家的行事従事者(オリンピック等)		国内における大規模災害に係る業務従事者		海外訓練経験者



階級章

将官を高位として全部で16階級定められており、陸海空で色や形態が異なります。また、着用する制服や階級に応じて着用位置が肩、襟、腕など様々です。

共通呼称			陸上自衛隊	海上自衛隊	航空自衛隊
幹部	将官	将	★★★★ 陸上幕僚長	 海上幕僚長	★★★★ 航空幕僚長
			★★★ 陸 将	 海 将	★★★ 空 将
		将補	★★ 陸将補	 海将補	★★ 空将補
	佐官	1佐	★ 1等陸佐	 1等海佐	★ 1等空佐
		2佐	★ 2等陸佐	 2等海佐	★ 2等空佐
		3佐	★ 3等陸佐	 3等海佐	★ 3等空佐
	尉官	1尉	★ 1等陸尉	 1等海尉	★ 1等空尉
		2尉	★ 2等陸尉	 2等海尉	★ 2等空尉
		3尉	★ 3等陸尉	 3等海尉	★ 3等空尉
	准尉	准尉	 准陸尉	 准海尉	 准空尉
曹士	曹	曹長	 陸曹長	 海曹長	 空曹長
		1曹	 1等陸曹	 1等海曹	 1等空曹
		2曹	 2等陸曹	 2等海曹	 2等空曹
		3曹	 3等陸曹	 3等海曹	 3等空曹
	士	士長	 陸士長	 海士長	 空士長
		1士	 1等陸士	 1等海士	 1等空士
		2士	 2等陸士	 2等海士	 2等空士

自衛隊の主要装備品の紹介

10式戦車



〈諸元、性能〉

乗員3名 全長9.4m
全幅3.2m 全高2.3m
最高速度約70km/h
120mm戦車砲、
12.7mm重機関銃
74式7.62mm機関銃

〈概説〉

対機甲戦闘・機動打撃などで使用する国産戦車。C4I(指揮・統制・通信・コンピューター・情報)機能が特徴

99式自走155mm榴弾砲



〈諸元、性能〉

乗員4名
全長12.2m 全幅3.2m
全高3.02m
最高速度約47km/h
155mmリゅう弾砲
12.7mm重機関銃

〈概説〉

戦車などの近接戦闘部隊を支援する装軌式の国産自走榴弾砲

CH-47JA(輸送ヘリコプター)



〈諸元、性能〉

乗員3(操縦士など)+55名
巡航速度約260km/h
航続距離約1,040km
全幅18.29m
全長30.18m
全高5.69m

〈概説〉

災害派遣、国際緊急援助活動などでも活躍する輸送ヘリコプター

03式中距離地对空誘導弾



〈諸元、性能〉

【誘導弾】
全長約4.9m
直径約32cm
重量約570kg

〈概説〉

方面隊の作戦地域、重要地域などにおける部隊、施設を掩護する国産の対空誘導弾

「こんごう」型護衛艦



〈諸元、性能〉

基準排水量7,250t
乗員約300名 長さ161m
幅21.0m 深さ12.0m
速力30kt 高性能20mm機関砲
VLS装置 魚雷発射管
SSM装置 127mm単装速射砲
イージス装置

〈概説〉

BMD(Ballistic Missile Defence: 弾道ミサイル防衛)能力が付加されたイージスシステム搭載護衛艦

「あきづき」型護衛艦



〈諸元、性能〉

基準排水量5,050t
乗員約200名 長さ151m
幅18.3m 深さ10.9m
速力30kt 高性能20mm機関砲
VLS装置 魚雷発射管
5インチ砲 SSM装置
魚雷防御装置 哨戒ヘリコプター

〈概説〉

ステルス性に配慮し、幅広い防空能力を有する新型の汎用護衛艦

「そうりゅう」型潜水艦



〈諸元、性能〉

基準排水量2,950t
乗員約65名
長さ84m 幅9.1m
深さ10.3m 速力20kt

〈概説〉

AIP(Air Independent Propulsion: 非大気依存型推進)機関を搭載した潜水艦

「おおすみ」型輸送艦



〈諸元、性能〉

基準排水量8,900t
乗員約135名
長さ178m 幅25.8m
深さ17.0m 速力22kt
高性能20mm機関砲
輸送用エアクッション艇

〈概説〉

被災者に対する医療、補給設備などを設置しており、多面的な活用が可能な輸送艦

F-15 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1~2名
最大速力マッハ約2.5
全幅13.1m 全長19.4m
全高5.6m 20mm機関砲
空対空ミサイル

〈概説〉

優れた運動性能を誇る空自の主力戦闘機であり、国籍不明機への緊急発進など、空の守りを担う。

F-2 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1~2名
最大速力マッハ約2.0
全幅11.1m 全長15.5m
全高5.0m 20mm機関砲
空対空ミサイル
空対艦ミサイル

〈概説〉

日米で共同開発され、優れた技術が結集されている戦闘機

C-130H 輸送機



〈諸元、性能〉

乗員6名
最大速力約318kt
全幅40.4m 全長29.8m
全高11.7m
航続距離約4,000km
(5t搭載時)

〈概説〉

航続距離が長く、PKO活動などで活躍する輸送機

UH-60J 救難ヘリコプター



〈諸元、性能〉

乗員5名
最大速力約144kt
航続距離約1,295km
全幅5.4m 全長15.7m
全高5.1m

〈概説〉

遭難者を救助する救難ヘリコプター
右前方下部に空中受油装置を装備

12式地対艦誘導弾



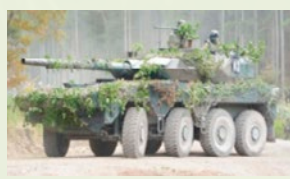
〈諸元、性能〉
【誘導弾】
 全長約5.0m
 直径約35cm
 重量700kg
 〈概説〉
 対上陸戦闘に際して、洋上の艦船などを撃破する国産の対艦誘導弾

中距離多目的誘導弾



〈諸元、性能〉
【誘導弾】
 全長1.4m 直径約14cm
 重量約26kg
 〈概説〉
 舟艇から装甲車、人員、構造物にまで対応でき、多目的性を有する誘導弾

16式機動戦闘車



〈性能、諸元〉
 乗員4名 全長8.45m
 全幅2.98m 全高2.87m
 105mm施線砲
 12.7mm重機関銃
 74式7.62mm機関銃
 〈概説〉
 空輸性及び路上機動性などに優れ、軽戦車などを撃破する装輪式の国産装甲戦闘車

水陸両用車



〈性能、諸元〉
 乗員19名 全長8.2m
 全幅3.3m 全高3.3m
 12.7mm重機関銃
 40mm自動てき弾銃
 〈概説〉
 海上機動性及び防護性に優れる装軌式の水陸両用車両

砕氷艦「しらせ」



〈諸元、性能〉
 基準排水量12,650t
 乗員約175名
 長さ138m 幅28m
 深さ15.9m 速力19kt
 観測隊員約80名
 大型ヘリコプター
 〈概説〉
 南極観測の支援を任務とし、4代目となる砕氷艦

「ましゅう」型補給艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量13,500t
 乗員約145名
 長さ221m 幅27.0m
 深さ18.0m
 速力24kt 洋上補給装置
 補給品艦内移送装置
 〈概説〉
 補給能力が大幅に向上した補給艦

US-2 救難飛行艇



〈諸元、性能〉
 乗員11名
 最大速力315kt
 全幅33.2m 全長33.3m
 全高9.8m
 〈概説〉
 波高3mの洋上でも離着水可能であり、洋上での救難に従事する救難飛行艇

SH-60K 哨戒ヘリコプター



〈諸元、性能〉
 乗員4名
 最大速力139kt
 全幅16.4m 全長19.8m
 全高5.4m
 〈概説〉
 護衛艦に搭載し、護衛艦と共に多様な任務に従事する主力哨戒ヘリコプター

KC-767 空中給油・輸送機



〈諸元、性能〉
 乗員4名 最大速力マッハ約0.84
 航続距離約7,200km (30t積載時)
 全幅47.6m 全長48.5m
 全高15.8m
 〈概説〉
 世界初の遠隔視認装置を採用した空中給油機

E-767 早期警戒管制機



〈諸元、性能〉
 乗員約20名
 最大速力約450kt
 航続距離 約9000km
 〈概説〉
 速度性能や航続性能に優れる早期警戒管制機

J/FPS-5 警戒管制レーダー



〈概説〉
 日本周辺空域を常時監視し、弾道ミサイルにも対処できるよう開発された固定式レーダー

ペトリオット PAC-3 地対空誘導弾



〈概説〉
 弾道ミサイル防衛の下層迎撃を担う地対空誘導弾であり、弾道ミサイル発射事象に際しては、適所に展開して対応する

主な広報施設のご案内

市ヶ谷台ツアー

(※要予約)



見学概要／

防衛省の心臓部とも言える市ヶ谷地区の見学ツアーです。防衛省に関係するニュースなどでは、よく正門の映像が登場しますが、その市ヶ谷地区内に所在する庁舎や極東国際軍事裁判（東京裁判）の法廷となった大講堂などを移設・復元した市ヶ谷記念館をご案内し、休憩時間は自衛隊グッズなどが販売されている厚生棟でお過ごしいただきます。そのほか、午前のツアーでは、殉職者慰霊碑を、午後のツアーでは、月曜日から木曜日までは陸海空自衛隊装備品の模型を展示する広報展示室、金曜日は防衛研究所が保管する戦史史料の見学をご案内しています。

- 見学時間／①午前の部 09:30～11:45 ②午後の部 13:30～15:40
- 開催日／平日のみ ■ 料金／無料
- 駐車場／なし（お車でのご来場はご遠慮ください。）
- 所在地／〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
- 御予約・お問い合わせ／記念館係 03(3268)3111（内線：21904）

海上自衛隊 鹿屋航空基地史料館



見学概要／

昭和11年に旧海軍鹿屋航空隊が置かれて以来、現在の海上自衛隊鹿屋航空基地に至るまでの海軍／海自航空部隊に関する豊富な資料を展示しています。戦争に関する貴重な資料が多く展示され、旧海軍航空隊に所属した多くの特攻隊員の遺品が展示されているほか、零戦が復元展示してあります。そのほか、海上自衛隊航空部隊の発展の過程、活躍する隊員の姿など、現在の海上自衛隊の活動を紹介します。

- 開館時間／09:00～17:00（最終入館 16:30）
- 休館日／年末年始
- 料金／無料
- 駐車場／あり（無料）
- 所在地／〒893-8510 鹿児島県鹿屋市西原3丁目11-2
- お問い合わせ／0994(42)0233

陸上自衛隊広報センター 「りっくんランド」



見学概要／

陸上自衛隊の担う幅広い役割や、災害派遣など国内における活動や国外における国際平和協力活動などの状況を、多くの写真や資料とともに紹介しており、最新鋭戦闘車両「10式戦車」をはじめとする多数の装備品を館内・屋外に展示しています。

館内には、臨場感溢れる映像が楽しめる3Dシアターや、ヘリコプターの操縦を疑似体験できるシミュレーターのほか、90式戦車や対戦車ヘリコプターの操縦席に座って写真が撮れるなど、お子様から大人まで楽しめる、見て、触れて、体感できる施設です。

- 開館時間／10:00～17:00
- 休館日／月曜日、第4火曜日（祝祭日の場合は翌日）及び年末年始
- 料金／無料 ■ 駐車場／あり（無料）
- 所在地・交通／〒178-8501 東京都練馬区大泉学園町
- お問い合わせ／03(3924)4176

航空自衛隊浜松広報館 「エアパーク」



見学概要／

「見て体験して楽しむ」をコンセプトとした航空自衛隊のテーマパークです。歴代ブルーインパルスをはじめとする多数の航空機の実物が展示されているほか、直径15メートルの大スクリーンに映し出される迫力満点の全天周シアター、パイロット訓練生と同じ飛行コースを体験できるシミュレーターなど、大空を飛ぶパイロット気分を心行くまで満喫することができます。

わが国の空を守ることを任務とする航空自衛隊の「防空のための作戦の一例」について分かりやすく説明するなど、航空自衛隊を幅広く知っていただくことができます。

- 開館時間／09:00～16:00
- 休館日／月曜日（祝祭日等の場合は翌日）、毎月最終火曜日、3月第2週の火曜日～木曜日及び年末年始
- 料金／無料 ■ 駐車場／あり（無料）
- 所在地／〒432-8551 静岡県浜松市西区西山町
- お問い合わせ／053(472)1121

海上自衛隊呉史料館 「てつのくじら館」



見学概要／

潜水艦の発展と現況や掃海艇の功績などに関する歴史的な展示資料を通して、海上自衛隊の歴史や、呉市と海上自衛隊の歴史的な関わりについて紹介しています。

魚雷や掃海艇などの装備品や、機雷を除去する掃海作業の様子について展示しているほか、平成3年に実施したペルシャ湾での掃海活動の様子についても紹介しています。また、実物の潜水艦（平成16年に除籍した「あきしお」）を屋外に展示しており、潜水艦に乗り込み、艦内で、潜航中の環境や生活を疑似体験できるほか、現役隊員やOBとふれあいながら見学することができる貴重な史料館です。

- 開館時間／09:00～17:00（最終入館 16:30）
- 休館日／火曜日（祝祭日の場合は翌日）及び年末年始 ■ 料金／無料
- 駐車場／あり（有料）（大和ミュージアムと共用）
- 所在地／〒737-0029 広島県呉市宝町5番32号
- お問い合わせ／0823(21)6111

防衛大学校ツアー (※要予約)



見学概要／

防衛大学校は、将来の幹部自衛官となる人材を育成する防衛省の教育機関であり、「広い視野を開き、科学的な思考力を培う、豊かな人間性を培うとともに、幹部自衛官にふさわしい精神、体力基盤及び生活習慣を育成すること」を教育目標としています。

このツアーでは、卒業式の帽子投げで有名な記念講堂、本校の歴史が一目でわかる資料館、学生が生活する学生舎（外観）、防大グッズが購入できる学生会館などを見学できます。午後の見学では、「学生の行進」をご覧になれます（都合により行わない場合もあります）。

- 見学時間／①午前の部 09:50～11:20 ②午後の部 12:20～13:50
- 開催日／平日の月曜日（午後）、水曜日（午前・午後）、金曜日（午後）
- 料金／無料 ■ 駐車場／事前にお問い合わせください。
- 所在地／〒239-8686 神奈川県横浜須賀野水1-10-20
- 御予約・お問い合わせ／広報ツアー係 046(841)3810（内線：2019）

各種イベントのご案内

観閲式／観艦式／航空観閲式

自衛隊記念日記念行事として、内閣総理大臣を観閲官として、それぞれ3年に1度行われます。令和元年度は、観艦式が行われる予定です。

- 時期／例年10月
- 場所／陸上自衛隊 観閲式(朝霞訓練場)
海上自衛隊 観艦式
(相模湾(横須賀などから出航))
航空自衛隊 航空観閲式(百里基地)

※観覧は、応募による抽選となります。

富士総合火力演習

陸上自衛隊が行うイベントの中で最も人気があり、通常、「そうかえん」と略されて呼ばれています。東富士演習場(静岡県御殿場市等)で、毎年8月末に実施し、戦車やヘリコプター、火砲などによる実弾射撃を間近で見ることができます。是非、現代戦における火力戦闘の迫力を“全身で”ご体感ください。

※観覧は、応募による抽選となります。

自衛隊音楽まつり

自衛隊記念日記念行事の一環として、年に1度、日本武道館において、陸・海・空自衛隊の音楽隊などによるドリル演奏を中心に、幅広く自衛隊の活動を紹介する音楽の祭典です。例年、外国軍楽隊も参加する、国際色豊かなフェスティバルを是非お楽しみください。

※観覧は、応募による抽選となります。

陸海空自衛隊合同コンサート

「音楽」を通じて国民との融和をより一層深めるため、年に1度、全国主要都市のコンサートホールにおいて、陸・海・空自衛隊の中央音楽隊が一堂に会する、本格的なクラシックを中心とした吹奏楽の演奏会です。高度な演奏技術により奏でられる吹奏楽の魅力を、あなたの街にお届けします。

※観覧は、応募による抽選となります。

航空祭(エアショー)

航空自衛隊の各基地では、創立記念日などの機会を通じて、航空自衛隊が保有する航空機の展示飛行や装備品の地上展示を行っています。また、ブルーインパルス®の展示飛行や、輸送機などに搭乗できる体験飛行が行われる場合もあります。普段味わえない空のショーをお楽しみ下さい。

駐屯地行事・基地祭

みなさまのお近くの陸上自衛隊の駐屯地や海上自衛隊、航空自衛隊の基地などでは、創立記念行事や基地祭などを行っています。装備品の展示や体験搭乗、音楽演奏のほか、市中でのパレードも行うなど、自衛隊を堪能できる様々な催しを行っています。是非お近くの駐屯地・基地にお越しいただき、楽しい一日をお過ごしください。



最新の情報やイベントへの応募については、省HPの「イベント情報」をご覧ください。
(<https://www.mod.go.jp/j/publication/events/index.html>)

携帯・スマートフォンはこちらから！

